

動物の体の共通点と相違点(1)

名前

❶ 次の文章は動物の分類について説明したものである。() に当てはまる言葉を書くか、○で囲みなさい。

- (1) ヒトやヘビなど、背骨がある動物を(^{せきついどうぶつ}脊椎動物・^{むせきついどうぶつ}無脊椎動物) という。
- (2) ザリガニやイカなど、背骨がない動物を(^{せきついどうぶつ}脊椎動物・^{むせきついどうぶつ}無脊椎動物) という。
- (3) (^{せきついどうぶつ}脊椎動物・^{むせきついどうぶつ}無脊椎動物) は、その特徴によって、^{ぎょるい}魚類、^{りょうせいるい}両生類、^{ちゅうるい}虫類、^{ちようるい}鳥類、^{ほにゅうるい}哺乳類の五つのなかまに分類される。
- (4) ヒトやネコなどは、母親の子宮内で^{しきゅう}栄養や^{あた}酸素を与えられてある程度育った子をうむ。このようなうまれ方を(^{たいせい}胎生・^{らんせい}卵生) という。
- (5) フナ、カエル、トカゲ、ハトなどは、卵をうみ、子は卵からかえる。このようなうまれ方を(^{たいせい}胎生・^{らんせい}卵生) という。
- (6) フナやメダカのように、ひれがあり、えらで呼吸する脊椎動物を() 類という。
- (7) イモリやカエルのように、^{ようせい}幼生のときにはえらと^{ひふ}皮膚、^{せいたい}成体のときには肺と皮膚で呼吸する脊椎動物を() 類という。
- (8) ウサギやキツネのように、子に乳を与えて育てる脊椎動物を() 類という。
- (9) カメやトカゲのように、肺で呼吸し、^{やわ}柔らかい^{から}殻のある卵をうみ、からだの表面がかたいこうらやうろこでおおわれる脊椎動物を() 類という。
- (10) カルガモやハトのように、肺で呼吸し、^{つばさ}くちばしや翼があり、かたい殻のある卵をうみ、からだの表面が羽毛でおおわれる脊椎動物を() 類という。
- (11) バッタやザリガニなどのからだをおおう、丈夫な殻のようなつくりを(^{がいこっかく}外骨格・^{がいまく}外とう膜) という。(^{がいこっかく}外骨格・^{がいまく}外とう膜) は、体を支え、体内を保護するはたらきをしている。
- (12) バッタやザリガニなどのように、(^{がいこっかく}外骨格・^{がいまく}外とう膜) でおおわれ、からだやあしが多くの^{ふし}節に分かれている動物のなかまを(^{なんたいどうぶつ}軟体動物・^{せっそくどうぶつ}節足動物) という。
- (13) 節足動物のうち、バッタやカブトムシなど、からだだが、頭部、胸部、腹部に分かれ、胸部に3対のあしと、ふつう2対のはねがあるなかまを(^{こんちゅうるい}昆虫類・^{こうかくるい}甲殻類) といい、ザリガニ、エビ、カニなどのなかまを(^{こんちゅうるい}昆虫類・^{こうかくるい}甲殻類) という。
- (14) 昆虫類と甲殻類のほかに、クモ・サソリ類に分類されるクモのなかまや、多足類に分類されるムカデのなかまも(^{なんたいどうぶつ}軟体動物・^{せっそくどうぶつ}節足動物) である。
- (15) イカやアサリなどのように骨格がなく、内臓が(^{がいこっかく}外骨格・^{がいまく}外とう膜) でおおわれている動物のなかまを(^{なんたいどうぶつ}軟体動物・^{せっそくどうぶつ}節足動物) という。
- (16) 節のあるあしや外とう膜をもたないミミズやクラゲなども(^{せきついどうぶつ}脊椎動物・^{むせきついどうぶつ}無脊椎動物) である。